荘内日報

6月18日(土)

発行所
荘内日報社

本　社／〒997-0035
鶴岡市馬場町8-29
電話0235(22)1480(代表)
酒田支社／〒998-0045
酒田市二番町6-2
電話0234(22)4244(代表)

本社代表 TEL(0235)22-1480
購読のお申し込み TEL(0235)22-1481
広告のお申し込み TEL(0235)22-1479 FAX(0235)22-2633
印刷のお申し込み TEL(0235)22-1724
編集のお問い合わせ TEL(0235)22-1482 FAX(0235)22-1427
ホームページ http://www.shonai-nippo.co.jp/

©荘内日報社　2016

6月18日㊏ 赤口

庄内の天気

＜概況＞18日は気圧の谷の影響により初め曇る所があるが次第に高気圧に覆われてくるため晴れる見込み。西の風。海上の波の高さは1.5㍍のち0.5㍍。

	6時	9	12	15	18	21	24
鶴岡	19°	20°	24°	22°	20°	19°	18°
	☁	☁	☀	☀	☾	☾	
酒田	18°	20°	22°	21°	20°	19°	17°
	☁	☁	☀	☀	☾	☾	
鼠ヶ関	19°	20°	21°	22°	20°	19°	18°
	☁	☁	☀	☀	☾	☾	
狩川	18°	19°	22°	21°	20°	18°	16°
	☁	☁	☀	☀	☾	☾	
飛島	17°	19°	20°	22°	19°	18°	17°
	☁	☁	☁	☀	☾	☾	

17日正午現在の気温
最高 23.8　最低 19.6

18日	酒田	山形	18日	酒田	山形
日出	4:15	4:15	月出	16:57	16:53
日入	19:09	19:05	月入	2:44	2:43

酒田港		
満潮	2:55	12:21
干潮	6:18	20:23
月齢13.0	潮名	大潮

徹底した保守サービスで社会に貢献！！
カラー複合機・パソコン・ホームページ制作
Amenity Office Creation
TRKAN
ツルカンシステム株式会社
http://www.trkan.co.jp

ビジターさん大歓迎！！
Good Shot！
お勤め帰りのゴルファーに応援企画！日々の練習を効果的に！
1,000円ポッキリパック!!
全日 17時以降～最終まで
（打席料＋貸球150球＋税金を含む）
鶴岡ゴルフガーデン Tel. 0235-25-0562

きょうのニュース・話題

12ページ紙面発行（テレビ・ラジオ欄は3面と9面）

2…自ら課題設定　学びの成果披露　酒田西高で進路探究発表会
6－7…全国の話題「北から南から」
11…開設から40年　金峰少年自然の家利用者120万人でセレモニー　東北公益大で選挙講座

学生ボランティア200人　漂着ごみ回収

飛島、湯野浜などでクリーンアップ作戦

9月1－5日　全国から集結

全国の学生ボランティア約200人が今年9月、庄内地方に集結し、酒田市飛島や鶴岡市、遊佐町の海岸で漂着ごみを回収するクリーンアップ作戦を展開する。その中心になっているNPO法人国際ボランティア学生協会（IVUSA、本部・東京都）の学生が16日、酒田市の東北公益文科大を訪れ、同大の学生たちと事前ワークショップで交流、学生が地域に関わる意義などについて意見を交わした。

IVUSA参加者募る　公益大生と事前交流

公益大での事前ワークショップで、学生に活動の意義などを説明するIVUSAのメンバーら＝16日

IVUSA（イビューサ）は1992年に設立された。国士舘大が、学生の夢を募集して実現を支援する「夢企画」として始めた活動が拡大したもので、現在は全国の約90大学の学生約3000人が参加。国内外で災害救援と国際協力、環境保護、地域活性化の4分野の活動に取り組んでいる。

庄内との関わりは、酒田市を拠点に飛島の漂着ごみ回収や同島の活性化に取り組んでいるNPO法人パートナーシップオフィスの金子博理事が、カナダでの漂着ごみ調査時にIVUSAの学生に出会ったのがきっかけ。飛島で2001年から産学官連携で漂着ごみ回収を継続していることを知ったメンバーたちが、環境保護活動の一環で、庄内で活動することになった。

IVUSAの計画による「いぐべ、飛島。」と題されたこの学生応援クリーンアップ作戦は9月1－5日に実施する。参加者は全国のIVUSAの学生約150人と、県内の学生約50人の計約200人を予定。9月1日に遊佐町鳥崎、同2日に鶴岡市湯野浜、同4日に飛島でそれぞれクリーンアップを行うとともに、識者による講話、学生同士の交流も行う。

事前ワークショップは今年3月に続いて2回目で、この日はIVUSAのメンバーで、澁谷拓也さん⑳＝東洋大文学部3年、五十嵐凛子さん⑳＝同大経済学部3年、今野麻由さん⑳＝拓殖大商学部3年＝の3人が公益大を訪問。山口県出身で「緑のふるさと協力隊」をきっかけに飛島に移住した松本友哉さんとともに、呉尚浩教授のコーディネートで学生約80人と交流した。

澁谷さんはIVUSAの活動概要などを説明し、「清掃活動を通じ、地元の学生と地域の課題解決をしていく土台をつくりたい」と庄内での活動の意義を説明、参加を呼び掛けた。

3月のワークショップにも参加した公益大2年の高橋明日海さん⑲は「同じ立場の学生たちが国境を超えた活動をしていたり、刺激になる。9月の活動にも参加し、地域に関わる東北の学生のネットワークを広げるきっかけにしたい」と話した。

IVUSAは9月の活動に参加する本県在住・出身の大学生を募集している。参加費は、宿泊・食費は自己負担。問い合わせは事務局＝電子メールtobishimaivusa@gmail.com＝へ。

健康の「土台」　予防歯科最前線

—上—

酒田・日吉歯科診療所　熊谷　崇　院長の熱い思い

歯科医療にイノベーションを

地域住民の口腔内健康維持に向けた、新しい歯科医療を実践し続ける酒田市日吉町二丁目の日吉歯科診療所。「歯科医療は口の健康を維持させることで身体の健康につなげ、生活の質を向上するという目標を持つ」―。熊谷崇院長(73)は常々、こう語る。その実践の結果、同市内では虫歯のない子供たちが増え、高齢になっても自分の歯で食事を楽しむことができる市民が多くなっている。NHK「プロフェッショナル―仕事の流儀」、テレビ東京「カンブリア宮殿」といったテレビ番組でも紹介された熊谷院長の予防歯科に対する思いを記す。

「健康を追求し、より多くの人の生活のクオリティー向上のため、これからも新しい歯科医療を展開していきたい」―。予防歯科への思いを語る熊谷院長

口腔の健康こそ歯科医療の目標

子供の虫歯、大人の進行した歯周病などの疾患が生じ、それを修復・処置することこそが歯科医療だと長く考えられてきた。多くの歯科医は現在もそう考えているかもしれない。が、熊谷院長は「本来の歯科医療の目標はその陰に隠れ、見えにくくなっていたように思う」と話す。

熊谷院長は1971年に横浜市港北区内で歯科医院を開業し、80年、38歳で妻・ふじ子さんの実家がある酒田市へ。酒田での開業以来、35年の節目を迎えた2014年、生涯にわたって自分の歯で過ごせるよう、口の中の健康を守り育てることを目的にしている全国の歯科医療従事者が一堂に会するセミナー「オーラルフィジシャン・チームミーティング」（日吉歯科診療所主催）の席上、これまでの歩みを振り返った熊谷院長は、鉄道や情報技術、建築といった異分野を引き合いに出した上で「イノベーション（革新）のない分野は壊滅する。歯科医療にイノベーションが起きているとは思えない」と。さらに「有識者や経済的に豊かな人でも口腔内の健康は守られていない。前例主義や時期尚早、『ムリ』ではイノベーションは絶対に起こらない」と続けた。

より多くの人の生活の質を向上

口の中の健康を守り育てることを目的にしている全国の歯科医療従事者が一堂に会するセミナー「オーラルフィジシャン・チームミーティング」。2006年から毎年開かれ、昨年は全国各地から約800人が集まった＝昨年10月

熊谷院長はじめ同診療所スタッフは日頃から、歯科医療を小さな口の中だけのものととらえず、身体の健康を維持するための土台となる「医療」と考えている。定期的な歯のメインテナンスを続けることで、健康な人は健康のまま維持、疾患による来院者には適切な治療を行った上、その状態が長期にわたって維持できる診療システムを構築した。

「健康を追求し、より多くの人の生活のクオリティー向上のため、これからも新しい歯科医療を展開していきたい。そのためにも提供できる診療の枠組みをさらに広げ、一方ではより専門的な歯科医療も提供できるように診療所の総合力を高めていきたい」。常に新しい歯科医療を考えて実践し続ける、熊谷院長のその姿こそイノベーションの最たるものではないだろうか。（編制局報道部長・堀　裕）

熊谷　崇氏（くまがい・たかし）　医療法人社団日吉歯科診療所理事長。1942年、東京都出身。68年に日本大歯学部を卒業後、71年に横浜市港北区で歯科医院を開業。80年にふじ子夫人の故郷、酒田市に移って「日吉歯科診療所」を開設。99年、スウェーデン・マルメ大歯学部名誉博士号授与。新潟大、東北大、九州大の歯学部で非常勤講師を歴任。日本大歯学部客員教授、東北公益文科大理事。

清酒
鯉川
お酒は20歳になってから
お酒は20歳になってから
鯉川酒造株式会社

「交付金への影響ない」

新ごみ処理施設計画書問題　鶴岡市が認識示す

鶴岡市が新ごみ焼却施設建設をめぐり国の交付金申請に必要な計画書を三川町に無断で環境省へ提出した問題で、市は16日、「再提出した計画書は交付要綱に沿っており、交付金への影響はない」とし、当初計画の2020年度までの完成に変更はないとの認識を示した。

計画書は昨年12月、市が三川町に無断で提出したため環境省から再提出を求められ、今年4月に両市町が協議して出し直した。

同日開かれた市議会本会議の一般質問で、佐藤茂巳市民部長は「交付金は例年、四半期に1度程度の追加内示がある。年度当初内示が、4月には間に合わなかったが、6月期か9月期には内示があると考えている。18年度からの建設事業に影響がないよう事業スケジュールの見直しを含め、柔軟に対応していきたい」と答弁した。

一方、三川町のごみ処理の受け入れについて、佐藤部長は「一般廃棄物の処理にかかる全ての経費を含めたあらゆる項目の洗い出しを行った上で、まずは委託料積算のルールについて三川町に提示し、協議を進めていきたい」とした。

来社

▽JR東日本の佐藤一晃酒田駅長は転任あいさつのため16日、本社へ。

荘内春秋

今、海外で暮らすことはごく普通のことになり、行き来も自由だ。しかし、かつて「移住」によって海を渡った人々は、再び故国の地を踏まないという覚悟を持ってのことだ。18日は「海外移住の日」という。

▼1908年6月18日、移民船「笠戸丸」が日本人移住者781人を乗せ、ブラジル・サントス港に入港したことにちなみ、総理府が制定した。新天地を開拓する夢を抱いての移住だが、移住先での暮らしは決して楽ではなく、原野を切り開くことは想像を超え、筆舌に尽くし難い苦労の連続だった。

▼国策によって「満州国（中国東北地方）に大庄内郷を建設する」という移住も、南米への移住と似る。1932年の満州国建設以来、無尽蔵という地下資源と、広大で肥沃な土地があるといわれた満州へ、庄内から集団で新天地を求めて大陸に渡った。集落ごとの集団移転というケースもあったようだ。

▼今の中国黒龍江省を中心に、庄内平野の5倍もの広さがある。庄内の全市町村の長が名を連ねた「庄内郷建設協会」が、移住を積極的に奨励した。戦時下の国策によるものだが、移住してみれば、こちらも前宣伝とは程遠く、寒さに加え、食料不足で山野草を食べたとの体験記をよく目にする。そんな人たちの苦難があって今がある。忘れてならないことだ。

平成28年度東北公益文科大学後援会　総会記念講演会
磯田道史氏
ISODA MICHIFUMI
講演会
2016年
6月30日(木)
14:45～16:15
入場無料
会場：東北公益文科大学 公益ホール
映画「殿、利息でござる！」の原作「無私の日本人」の著者。NHK、BSプレミアム「英雄たちの選択」等、多くのテレビ番組に出演中の磯田氏を招いた講演会。
講演会参加希望者の方は電話又は電子メールで下記までお申込みください。
参加申込・お問い合わせ先
東北公益文科大学　総務課
〒998-8580 山形県酒田市飯森山三丁目5番地の1
TEL:0234-41-1111
E-mail:somu@koeki-u.ac.jp

(写真提供　文芸春秋)
講演者　磯田道史氏
プロフィール
1970年、岡山市生まれ。2002年慶應義塾大学文学研究科博士課程修了。
博士（史学）。現在は国際日本文化研究センター准教授。
史料を読み込み、社会経済史的な知見を活かして、歴史上の人物の精神を再現する仕事を続けている。『近世大名家臣団の社会構造』（文春学藝ライブラリー）『武士の家計簿』『殿様の通信簿』（以上　新潮文庫）『日本人の叡智』（新潮新書）『歴史を愉しむ』『天災から日本史を読みなおす』（以上、中公新書）など著書多数。
東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science
公益大オープンキャンパス2016　参加申し込み受付中　6月19日㊐　11時～15時（受付10時30分～）

白アリ工事　三洋の消毒
三洋塗料販売
早期発見！早期処理が第一！
●あなたのお住まいは、建築後何年ですか？
●白アリの侵入は建築後3年～10年が最も多いのです。
●白アリ予防は、住宅の予防接種です。
●財産を守る白アリ工事はお済みですか？
●防虫と同時に防腐処理も完璧です。
【その他害虫駆除】（ハエ・ゴキブリ・ネズミ・ハチ）
しろあり防除施工士　蟻害・腐朽検査員
おまかせ下さい!!
羽アリが出たら白アリ
新築予防工事・駆除工事保証5年間
4月～7月はシロアリの引っ越しシーズン
すぐ工事できます！
白アリの羽アリ
電話一本、すぐ無料診断、無料見積り
山形県知事許可(般-23)第700765号 日本しろあり協会第865号
三洋塗料販売株式会社
フリーダイヤル 0120-466471
鶴岡/鶴岡市本町 ☎(0235)22-3746(代) 酒田/酒田市富士見町一丁目2-8 ☎(0234)23-3333(代)

ISHIBASHI
信頼の構築
石橋不動産 株式会社
— since 1981 —
0120-81-5411

土地&住まい
CHOYO
㈱朝陽宅建
遺品整理
生前整理もご相談下さい
「個人との証」大切に供養いたします
連携：㈱環境管理センター
鶴岡市上畑町8番30号
TEL0235-25-0828 Fax 25-1108　一般社団法人 遺品整理士認定協会認定　地区統括会員　遺品整理士認定第IS01620号
URL http://www.bb-town.jp/choyo/　E-mail:choyo@bb-town.jp